

# 議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和3年3月18日（木）  
9時58分～11時37分  
全 員 協 議 会 室

【出席者】 三浦委員長、西川副委員長、  
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、  
佐々木委員、澁谷委員  
【事務局】 近重係長、小寺書記

---

## 議題

### 1 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料1

- (1) 第4号掲載内容及び原稿担当
  
- (2) その他

### 2 はまだ市民一日議会について…………… 資料2

- (1) チラシ、周知方法確認
  
- (2) その他

### 3 議会報告会について

- (1) 他市議会の取り組み  
東村山市議会 [令和2年第3回議会報告会](#)

鳥栖市議会 [オープン the 議会](#)

彦根市議会 [オンライン議会報告会](#)

- (2) その他

### 4 その他

- (1) 地域協議会へのアナウンス（金城：3月24日（水）、旭：3月26日（金））

【議事の経過】

[ 9時 58分 開議 ]

三浦委員長 | ただいまから議会広報広聴委員会を始める。  
では議題に沿って進めていく。

1. はまだ議会だよりminiについて

(1) 第4号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長 | 小寺書記に説明をお願いします。

小寺書記 | ( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長 | こちらの提案についてご意見を伺いたい。まず掲載記事だが、自治区もしくは中山間の特別委員会の活動の様子を一つ、それから市民対談の取材の様子、これはもし掲載するとなれば伺った川上委員か私が書くことになると思うが、そのほかこれは掲載すべきという案件があれば、ぜひご提案いただきたい。いかがか。特に異論がないようなら、この二つで進めたいと思うがよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では簡単に決まりそうな市民対談の取材の様子については、川上委員が本文を書かれたので私が書こうか。では、カメラを担当した私がここは書かせていただく。

西川委員 | 小さくてよいので写真もぜひ掲載してもらったらと。

三浦委員長 | はい、そのようにする。

では自治区か中山間か、いかがか。自治区委員長の澁谷委員がおられるが。

澁谷委員 | かたくておもしろくないかもしれないが、それでもよければ。

三浦委員長 | では澁谷委員長に特別委員会の部分はお任せすることによろしいか。

( 「はい」という声あり )

では小寺書記、私と澁谷委員にそれぞれ文字数の割り振りをよろしく願います。

では議員のつぶやき、コラム的のところだが、どなたか立候補して書いていただけないか。

村武委員 | これは4月1日発行か。国府の唐鐘で天然ワカメを干していて、ちょうど今時分で、「かおり風景100選」にもなっているしその様子は

三浦委員長

どうか。

よいと思うがいかがか。異論はないか。

( 「異議なし」という声あり )

では村武委員、よろしく願います。

あとは議長日誌だが、事務局から提案のあった山陰浜田港公設市場仲買棟の開所式について書かせていただくということによろしいか。ほかにあれば。よいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではこのような形で4月1日の議会だよりminiは作成していきたい。ご協力に感謝する。

## (2) その他

三浦委員長

ほかにはよろしいか。

( 「はい」という声あり )

## 2. はまだ市民一日議会について

### (1) チラシ、周知方法確認

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長

皆、チラシ案についていかがか。

小川委員

未成年の方が発言される場合のところだが、保護者にも一緒に登壇いただくこととなっているが、保護者に限らず、例えば考えられるのは児童生徒だと学校の先生の場合もある。保護者等と入れたらよいかと思う。アシストされる大人はある程度幅広いほうがよいかと思った。

三浦委員長

そのように対応するというのでよいか。

小寺書記

では付き添いの方でもよいか。

笹田委員

その場合は責任者になるのかと思うのだが。保護者もしくは責任者くらいの形にしておけば、付き添いだと誰でもよい感じがするので、しっかりした方という意味では保護者か責任者という形のほうが望ましいのでは。

小川委員

趣旨としては、アシストされる方も一緒に登壇いただく、くらいにしたほうがよいかと思った。

三浦委員長

「未成年の方が発言される場合、保護者の方なども一緒に登壇し

ていただけます」でどうか。よいか。

今、提案させていただいた「保護者の方なども一緒に登壇していただけます」でよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではそのようにさせていただきたい。

三浦委員長

そのほかにいかがか。

野藤委員

「はまだ市民一日議会」と書いてあるところ、「これまで」の部分が縦書きになっていて、枠というか、何か欲しい感じがした。

三浦委員長

今のご指摘も踏まえて、デザインと、最終確認した際にもし微修正があったときには、正副委員長にご一任いただくということによいか。先ほどのご指摘は意識して修正するようにする。

西川副委員長

タイトルの右の小さい字の「あなたの考えを議員に」云々だが、「議会」のほうがよいのと、そうすると下の縦書き説明文の最後から2行目「今後の政策提言などを議員活動に」を「議会活動に」のほうがよいと思った。

三浦委員長

議員を議会に修正する、これもよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではそのように修正する。

西川副委員長

あと上の吹き出しの黄色い発言時間5分のその左、持ち時間は10分間というのも内容がわかりにくいというか。発言時間5分で質疑応答含めて10分と、わかりやすいほうがよい。

三浦委員長

では「質疑応答を含め10分」と修正したい。

そのほかにいかがか。

芦谷委員

確認だが未成年の場合には保護者も一緒に舞台に上がるということか。

三浦委員長

そう。犬山市の参考事例として皆で拝見した、小学生が登壇されたときに横に母親と一緒にいらした。そういうイメージである。

佐々木委員

案内文面は非常にわかりやすくてよいが、後半の「新しいチャンネルづくり」はわかる人とわからない人がいるかと思う。わかりやすい表現にしたほうがよいのでは。

三浦委員長

ご指摘感謝する。ここはよりわかりやすいように修正したい。

そのほかにいかがか。

( 「なし」という声あり )

ではご指摘いただいた部分を反映し、最終版として。

小寺書記 最終版だが、後の配付先のところでも触れるのだが今作成中のV  
o 1.61、5月1日発行のものの議会だよりの中に折り込むことにして  
いる。今度4月2日に校正の委員会を予定しているが、その際にもチ  
ラシが入った状態にはなるかと思う。そこで確認いただくことにな  
ると思う。

三浦委員長 4月2日に最終確認を皆にさせていただく時間があるということか。

小寺書記 はい。

三浦委員長 ではそれまでに修正して、4月2日に皆に最終確認させていただく流  
れで進めたい。

## (2) その他

三浦委員長 市民一日議会について、そのほかに。小寺書記。

小寺書記 チラシ配布先についてご説明する。

( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長 1点確認だが公用車のステッカーについて、費用負担はこちらに発  
生するのか。

小寺書記 費用負担は恐らくなく、物を印刷してラミネートまでを事務局で  
対応することになると思う。

三浦委員長 では問題なく。

小寺書記 あまりよい紙ではないがカラーコピーで印刷して、ラミネーター  
はどこかで手配する。

川上委員 事務局に確認するが、最初と若干変わったか。

小寺書記 それほど変わらないが、文字位置が少し変わっている。

西川副委員長 小学校にも配布するのだが、チラシにルビが打ってないので小学  
生が読めない。メイン記事だけでも振り仮名を打ったほうがよい気  
がするが、どうか。

川上委員 学校に送るので特段問題ないと思うし、4年生5年生になればこの  
程度ならおおよそ読むので、よいと思う。

村武委員 各小中学校だが、これは1校に10部ずつということだが、どのよう  
に配るのか。例えば学校の先生からこういうことがあるとアナウン  
スがあって、もし必要な方は取りに来てくれという感じか。

小寺書記 今のイメージはチラシを学校に置いていただくことが一つと、先  
生方にアナウンスもしてもらえればと思っている。それによっても  
う少しチラシが必要であれば追加でお送りすることも考える。

- 村武委員                    チラシというよりも、例えば公民館でもそうなのだがポスター的なものがあるとよいと思った。このチラシの右側部分が要らないと思うので、左側部分だけをA3などに拡大したものを各学校に貼っていただくとか。
- QRコードが入っているので高校生などはそこから入ることもできると思う。「市内高校」とあるが、例えばポスターだけなら智翠館高校なども浜田から結構通っている子がいる。
- 三浦委員長                村武委員のご提案についてどうか。A3拡大印刷はできることかと思う。議会報告会や地域井戸端会の際もA3の掲示用のものを渡している。それと同様に対応してよいかと思う。
- 川上委員                    学校・公民館へは議会広報公聴委員会の担当が行って説明していただき、置かせていただくのが丁寧かと思う。
- 高校については、智翠館にも確かに浜田市在住の学生はいるが、一応管轄が浜田市内なので、市内だけでよいと思う。
- 三浦委員長                川上委員からご意見があったがいかがか。
- 野藤委員                    はまだ議会だよりで告知するので、ポスターをつくるまではしなくてもよいかと思ったが。
- 三浦委員長                浜田管内の学校に今回は限るといふことにしようか。
- 笹田委員                    このチラシだと多分小中学生は来ないと思う。難しく感じる。高校生くらいになるとわかるが、このチラシを小学生が読んで、来ると思うか。何か難しそうな感じがするので。もし本当に来てもらいたいのであれば、そちら用に何かつくらないとまいて終わりになる気がする。高校生以上はこれでよいが。
- 三浦委員長                バージョンを分けてつくればそれにこしたことはないと思う。もしご協力いただけるなら笹田委員、小中学生向けの文面をぜひ作成していただければ。
- 笹田委員                    私がやると本当に少ししか書かなくなると思うが。
- 三浦委員長                級数を大きくしてもよいし、わかりやすく要点をつかんで伝えれば。確かに難しいイメージを抱かせるよりは、わかりやすくとっつきやすい、ちょっと楽しそう、行ってみようかなと思ってもらえる工夫をするのは大事だと思う。短くても結構なのでぜひご提案いただけると。デザインは変えず、上段の縦書き部分だけ変える感じで。
- 笹田委員                    上の部分もこのままか。黄色と青と赤の部分。
- 三浦委員長                もっとやわらかくできそうであれば。

- 笹田委員 浜田市に住んでいて疑問に思うことくらいでよいと思う。小中学生なら。店がないとか遊ぶところがないとかになるかもしれないが、多分そういった疑問のほうが多いと思うので。それでもよいから引っ張ってくるような内容のほうが。もし来てくれるなら逆によいかと思う。小学校の先生らと相談して、どういった形がよいのかやってみようと思う。
- 三浦委員長 では2バージョン作成するという事。笹田委員のご協力に感謝する。
- 佐々木委員 そのほかに配布先などについてご意見はあるか。
- 三浦委員長 本庁の告示などは。本庁にたくさん市民が来られるので、何かしらの告知が必要かと思うのだが。かといって1階の電子掲示板などを使うと迷惑になるので、議会だけで。
- 近重書記 階段の掲示板など。
- 三浦委員長 過去に私が議会報告会をしていたときには、階段の踊り場の掲示板があいていれば自由にとということだったので、あき次第速やかに掲示はしていた。あいていけばできる。
- 三浦委員長 では適宜あいているところに。掲示板もあいたら速やかに対応いただけるか。
- 野藤委員 デジタルサイネージが使えるのではと思ったのだが。
- 小寺書記 恐らく1階の総合窓口課の上にあるものだと思うが、掲示ができるかどうか総合窓口課に確認したい。
- 野藤委員 募集開始の日だけでも。
- 小寺書記 せっかくなので期間中お願いできることを前提に調整したい。またご報告させてもらいたい。
- 村武委員 本庁の階段のところに掲示というのはA3版ということか。本庁に申し込みのチラシは置くのか。各支所には置くようだが、本庁にもどこか置ける場所があれば置いたほうがよい。
- 小寺書記 総合窓口課に置き場所があるか確認したい。5階には常時用意しておきたい。
- 三浦委員長 A3チラシの掲示箇所だが、市民がよく行かれる場所といえば例えばスーパーマーケットなどのほうが目につくかと思うが、公民館など公共施設に限らず、人の出入りの多いところではできるだけ掲示の協力を求めていったほうがよい。
- 具体的にどこに貼るかは、例えば皆がお住まいの近隣で掲示でき

る箇所に、できるだけお願いしていく。これは議会広報広聴委員に限らず全議員にもご協力をお願いしながら、できるだけ掲載箇所を増やしていく働きかけもするべきではないかと思うがいかがか。

佐々木委員

大賛成である。いつも議会でやるときは決まったことしかやってないし、これで反応があるかといえはいまいちないので、できる限り全議員が協力して近隣のいろいろな施設に、A3ポスターみたいなものをつくってそれを貼っていく動きを皆でする方法が本当に大事だと思う。皆でやるという趣旨も含めて。

川上委員

以前、地域井戸端会のポスターがあちこち貼ってなかったか。僕はスーパーに貼った気がするのだが。そのパターンでやろう。

近重書記

議会報告会するときには公民館分と、議員用の予備を希望に沿ってお渡ししていた。私もどこかの店舗で見たことがある。それは多分皆がどこかに回られて、お願いされたものだと思う。

三浦委員長

同様に予備分を各議員に、チラシとともにA3拡大版をお渡しし、各議員に掲示の協力を促すということで。掲載箇所の管理はよろしいか。

芦谷委員

700部の限定と考えると、ぱっと見た場合、県立大学があつてほかの専修学校はどうするのかと思うし、子育て支援センターがあつて公立幼稚園もあるしと思う。石央文化ホールと図書館があるし、美術館はどうするのか。

言いたいのは、市議会としての広報機能をどこにするか、ある程度スタンスを決めておかないとそのときの気分や思いで言うことがあるので、ぜひこれを機会に、市議会の広報はどこにするというのを決めたほうがよい。

三浦委員長

ご指摘はそのとおりだと思う。これまで議会報告会のチラシ配布先がこのリストアップされているところである。

近重書記

議会報告会は公民館のみだったと思うので、その他は皆の近隣、お知り合いなどに回っていた。

三浦委員長

各自治区の図書館、美術館など、配布できる公共施設には配布すべきだと思うので、これに少し加筆する形でリストアップするようお願いする。

個別に掲示を依頼してもらったところはいかがでしょうか、申告をいただいて管理する形にするか。

小寺書記

できればそのようにしてもらったほうが事務局としてはありがた

三浦委員長 三浦委員長

い。そういうところをお願いした実績も残れば後々もよいかと思う。全議員でされるなら報告もセットでお願いしたい。

皆はどうか。各議員にお願いして、それとともに掲示を依頼された先は事務局に報告いただくようお願いする、ということによいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではそのように、管理をこれからきちんとして、こうした配布物・広報物を配布するときにはそれに基づいて進めていくことにしたい。

ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

### 3. 議会報告会について

#### (1) 他市議会の取り組み

三浦委員長 小寺書記

小寺書記に幾つか調べていただいたものが配付されたレジュメにあると思う。それぞれ形が違うが、小寺書記から簡単にご案内いただきたい。

小寺書記 ( 以下、資料をもとに説明 )

三浦委員長 皆からご意見を伺いたい。この三つの事例に限らず、オンラインを導入するこうした手法についてご意見を伺ってみたい。

川上委員 先般、市長がオンラインで新しいまちづくりについて説明されたのだが、どうしても一方通行的になりやすい。議会報告会をするなら、たくさんの箇所とつながずに1か所をつなげば有効だと考える。

三浦委員長 ほかにかが。どういう形でやるかだが、東村山市の場合は案内ページにも「一方通行的な」と明記もされていて、こういうやり方なのでこちらからの発信が強いがと前置きの上で取り組んでおられる。

鳥栖市のようにZ o o mで開催というのは対面とほぼ変わらずというか。ワークショップをやるとなるとZ o o mだと例えばブレイクアウトルームのように少人数グループで割り振るとなるとオペレーションも少し大変になってくるが、できないことはない。ただ、こういうアプリを使いこなしているかそうでないかで抵抗感が生まれると思うので、そうすると20人、30人が参加したときに、一人当たりとのコミュニケーションがどうしても薄くなってしまおうというのはあるが、双方向の関係性はつくれるメリットはあるかと思う。

先ほど川上委員からご指摘あったように、私もあのオンライン市民集会を聞いていたのだが、ほかの地域でお話しされている声はほぼ聞こえない。そうすると取り組みとしてはよいのだが実際にほかの地域の声は聞こえないので、システムのこちらがやりたいことがあれで解決できているかというところ少し課題が残ると感じた。お互いの声がクリアに聞こえるよう工夫する必要がある。

あとはそもそも集まること自体を完全に避けるならオンラインツールになるし、ある程度感染対策をして、事前に人数の上限をつかってソーシャルディスタンスが担保できる場所を設定して来ていただくこともされていたので、完全オンラインではない形もあるかと思うが。改めてどういったことを目的に議会報告会を開催するか、皆からの意見を伺って進めたい。

村武委員

対象者をどのように考えるかでやり方が違ってくるように思う。全市民を対象にするならオンラインの形でもやはりどこか1か所に集まっているのをつなぐ感じになるかもしれないが、そうするとどこかに集まってもらえばオンラインでやる意味もないのかなと。

例えば若者の意見を聞きたいのであればオンラインでブレイクアウトルームをつかって何かテーマごとに分かれて意見交換をするのもおもしろいかとは思う。

野藤委員

今言われたように年代を決めて、若者に対してならZoomでやるとかはありだと思う。半年くらいのスパンで考えるとワクチンが入ってきて、集まることへの抵抗がなくなってくると思う。全年代にオンラインでというのもここ半年から1年の世界だと思う。Zoomを使うのは若者が個別に集まる想定だけにされたらどうか。

三浦委員長

ほかの方はいかがか。

芦谷委員

議会基本条例に載っている。議会報告会があり自由討議があり重要案件があり政策討論がありといっぱいある。結局これは市民に開かれて市民への情報受発信と、議会でもってそれを合意形成して施策にすると。私は議会報告会に固執するのはどうかと感じる。

地域協議会との意見交換会もあるし、はまだ市民一日議会もあるので、そこで受発信の形はつくっているしminiもある。

もう一度広報広聴のあり方を整理してかからないと、基本条例にあるから皆しなければいけないとなるとすごくふくそうする。聞きながら思った。

佐々木委員

基本条例をつくったところに市民の声を聞く場は議会報告会くらいしかなかったが、今は各委員会がすごく機能されていろいろな所管団体と広聴の一部を盛んにされている。やってないようで実はやっていることもあるので、議会報告会をどういう形でやるかという点で、なかなかZ o o mでやるとなると一方通行を変えることは難しいので、なるべく制限された人数の中で、対面で特に広聴機能をきかせるやり方のほうが、今後やっていくべきかと思う。

委員会がそれなりにされているし、今後また地域協議会のメンバーともやるので。各自治区で議会報告会をするとほとんど地域協議会メンバーが中心に参加されているので、実はやっている。限られた人数での議会報告会を対面式でやったほうがよいのではないか。

川上委員

各委員会は全てY o u T u b eで流れているので、広報については基本的にできていると判断する。ただ広聴部分がなかなか薄いので、オンラインを使って広聴部分を何とかカバーしないといけないのがこれからだと思う。逆にオンラインでやるときに広報でなく広聴を念頭に置いて考えたほうがよい。その辺を検討していただければと思う。

澁谷委員

言われるとおりで、議会報告会という名前はしているが春に30分ほど3月定例会議の流れを報告するくらいであとはグループで話を聞く形になっている。今は事務局の努力などもあり、Y o u T u b eにアップされるのがすごく速いから、市民もすぐパソコンやスマホから見られる。報告については全国の議会の中でも速いスピード感だと思う。

あとは聞くことが必要で、それも委員会でもうやっている。Z o o mなどは、やった感が出るのだが僕は割と空気感が大事だとも少し感じていて、目の表情で言葉以上のことがわかる。それがなくなってくるのはそこに対する受けとめ方、言葉の重みがかめるかどうかまだ自信がない。自分がやってみてまだ想像力が弱いと感じている。

笹田委員

根本的に今までのやり方だとだめだと思う。そこをまず考えておかないといけない。今からワクチン接種なども始まってある程度緩和が進んでいくと思うが、それに応じたやり方で誰でも来られるような今とは違う形や仕組みをつくらないと、今の状態で開催しても今までと変わらない。ずっと言い続けている課題なのだが抜本的に

変えないと、ただやればよいのではなく、これを機にしっかり考えないといけない。

村武委員

目的なのだと思う。地域協議会との意見交換では、例えば高齢の方の意見はそこで聞けると思うが、若者の意見を聞くことが課題だと思っているので、若者ならZ o o mを使つての広聴機会をつくつてもよいと思う。最初はもしかしたら参加人数もそれほどたくさんではないかもしれないが、これはやっていく上で少しずつ増えるかもしれない。

ただ、もしZ o o mでする場合は我々も進めていく上で考えないといけないこともあると思うので、それが今年10月までの間にできるかどうか。

小川委員

ターゲットということをすごく言われているが、私とすれば例えば引きこもっておられる方が議会報告会に来られる可能性はまずゼロに近いと思う。だからそういう方に対しての広報機能という意味では、そこに絞った形でオンラインを使った広聴機能に焦点を絞って、実際にされている自治体の例を参考にしていくとよいと思う。

芦谷委員が言われるように、今いろいろやっている中で、基本条例に載っているからとそれがすごく重荷になるというか。載っている以上はやらないといけないのだが、それ以上に広報広聴機能は実際には機能しているし、各委員会の活動もすごく活性化している。そういう意味では大変充実した形では進んできている。ある意味この間の議会報告会も少し見直しが必要かというのもあったと思うので、そこをもう少し発展させる形でいうと、今までは時間帯の問題もある。19時半といつても家事をされる方は参加しにくいこともあり、日曜に設定したこともあったがそれでもなかなか来にくいということなら、広聴に焦点を絞ってオンラインを使ってでもやれば参加していただける方がいるならばぼるなど、どういう形ならできるかを検討したほうがよい。

野藤委員

今は議会報告会になっているがかたいということで地域井戸端会に名前を変えて参加を促したのだが、今考えていて、逆にネクタイも締めず普段着で集まろうとか、一番高齢化しているところの常会に行っているいろいろな意見を聞くとか、そういうのがよいのかと思った。本当に聞くならそういう形のほうが実のある言葉が聞こえるのかなと思った。参加者は、議員が相手だと意識して発言をされてし

西川副委員長

まう。そこを何とかしたい。

今まで皆が言ったとおりだと思う。特に今まで議会報告会に来ていただいた層は今さらZ o o mというわけにいかない層なので、やはり対面ができるとういと思う。

Z o o mで集まれるようになった若い世代、これは新しいことなので若い世代をZ o o mで取り込むのは非常に有効だと思う。

しかし議会報告会という形にこだわると難しいので、新しい発想でぜひやって。Z o o mは会話に参加しなくても聞いただけもできる。新しいやり方を考えていくべき。

笹田委員

議会報告会ではなく。澁谷委員が言われるように広報は前に比べたら結構進んでいると思う。我々が望んでいるのはそれを利用した広聴で、村武委員も言われたがもし若者の意見が聞きたければ県立大学もあるし高校生もいるし、それをターゲットに絞った広聴会をすればよい。万民に受け入れてもらいながらそれを行うのは非常に難しい。そうなるとう一番大切なのは興味を持ってもらうこと。選挙のときだけ興味を持って終われば離れていくことがずっと続いているので、そこをどうするかを考えていかないといけなない。

テーマに興味があれば市民は結構集まる。そういうところで万民を呼ぶ仕掛けをしないと。小川委員が日時について言われたが、日曜にしようが土曜にしようが夜にしようが、時間があっても興味がないと来ない。土曜もやったし日曜もやったが大して変わらないという成果が出ているので、そのあたりをしっかりと考えないと。

Z o o mの使い方などはこれからまた進化するだろうし、我々もそれを追っていく必要があるのでは。まずそのあたりをしっかりと考えないと、やったはよいが数人しか来なくて無駄になったというのが続いていたので、難しいと今も思っている。

三浦委員長

皆から意見をさまざまにいただき、次回までに今日いただいた意見を整理して、どういうところに課題があるのかを整理してから議論したほうが。いろいろな視点が入っていたと思うので、それを整理してからまた議論させていただきたい。

伺いながら1点思ったのは、議会報告会という今までやってきたことができない状況にあり、市民からするとどこで自分たちの伝えたいことを言えばよいのかわかりにくくなっているとは思う。今回の議会だよりの紙面がかつかつでどう確保したらよいのかとは思いな

がら、議会だよりができないままなのだが地域協議会とも協議をしようとしているとか、あるいは議長メールというのがあるとか、あるいは請願・陳情も今いろいろ議題に上がっている。そうしたことで皆の意見を議会に届けられる方法はあるのだということはアナウンスしておくべきではないかと。議会報告会がなくなったから意見が伝えられないと思われるのも機会損失だと思うので、紙面で触れられるように検討させていただきたい。

野藤委員

各支所や公民館でZ o o mを使ったオンライン活動はすぐ取り組めると思う。Z o o mなど使ったことがないという人でもアシストがいれば、ただしゃべるだけなのでできるのではと思う。

先般浜田市がされたテレビ会議システムは、大勢が集まって協議するには向かない。Z o o mなら可能なのでそれも考えてみられたらどうか。

三浦委員長

オンラインツールを活用するのは一つの新しいやり方だと思うので、可能性もあると思う。ただ一方で課題も同時にあると思うので、そのあたりも整理して皆と引き続き協議させていただきたい。

## (2) その他

三浦委員長

議会報告会について、そのほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

## 4. その他

### (1) 地域協議会へのアナウンス (金城：3月24日 (水)、旭：3月26日 (金))

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

今まで弥栄と三隅は三浦委員長と西川副委員長で事前アナウンスということで協議会委員とお話する機会があった。金城・旭についてだが、金城は3月24日、旭は3月26日に開催されるので、正副委員長で分担して行くかお二人で行くということで考えている。資料は今配信した内容で協議会委員に今後のことをご説明し、意見を伺う段取りになると思う。ご確認いただければ。

三浦委員長

金城・旭はこちらで引き続き対応させていただき、ご説明に上がろうと思うがよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではそのようにさせていただく。

西川副委員長

その他として。議会だよりの読者アンケートを担当している。前回の7番の自由意見で、「そろそろ免許を返したい。病院への通院は介護タクシー券を使えると思うが、タクシーを頻繁に使うと高くつくのでバスを利用したいと思う。ところがバスの運行時間の間隔が1時間に1本くらいしかないので使い勝手が大変悪い。もっと使い勝手のよい時間配分にしてもらおうと、高齢者の免許返納が増えると思う。考えていただきたい」という方から、また今回同じ方から来たのが先ほどのもの。9番「前回質問したバスの運行の件について回答はどうなったか。紙面でもよいので回答していただきたい」というのが来ている。

今後もあると思うが、このようなものが来た、これを議会で検討する、という文言だけつけているので、一つ一つに答えるのは紙面では限られるので、どう扱ったらよいか少しご意見を伺いたい。

三浦委員長

ご意見を伺う形で、いかがだろうか。

川上委員

どちらにしても我々議員ではこういう案件に、こうしたいああしたいというのは難しいので、こうしたほうがよいという考えを持っていてもそれを直接答えるわけにいかないから、一度執行部に投げる。その機会を設けたほうがよい。

野藤委員

バスの件については執行部に投げかけてはいないのか。

西川副委員長

はい。一つ一つの案件についてまだアクションできてない。

野藤委員

であれば、こういう問い合わせについては一応投げかけて回答をもらうようにしておかないと、そのままみたいな形になる。我々に意見を聞かれても、なるべく早く対応して回答したほうがよいのではないかくらいの答弁にしかならないので。

澁谷委員

執行部に投げかけたとしても、すぐ回答をくれるのはまれで早くても2、3か月は平気でかかる。これは本来なら直接話が聞ければ一番よいと思う。これは放置されていることへの苦情なので、その辺の仕組みをつくって。もし電話連絡できたらまず話を聞いてあげるといふアクションが起きやすい。

今はこういう意見があっても、どう対応するか宙ぶらりんのまま誰も責任を持たない形なので、今のようなお怒りが。逆にアンケートを取ったことに対して不誠実になるので、考えないといけない。できれば行って直接誠心誠意話を聞いてあげて、こうこう対応すると連絡してあげて、ということ。自分たちがバスの運行について言

い切れるわけでもないのです。

西川副委員長にばかり責任を持たせるのも困るだろうし。割り振りが今後していかないといけない。受け持っていつまでに執行部と話して返事するとか、その方のところへ行ってみるとか、何かアクションを起こす仕組みができればと思った。

芦谷委員

そもそも議会と市長の関係を整理して、議会質問をする、それが終わると今度は、陳情も両方にあると終わると、議長へのメールだとか個別要望については、議会として市長や関係機関へきちんと伝える仕組みをつくっておけばよい。個人対応で電話で聞くなどはなかなか難しいので、できればその辺は、来た情報で伝えることは伝えるという仕組みがあればよい。

野藤委員

59号は男性になっていたが60号は女性。夫婦ということか。

西川副委員長

同じ人だろうと思う。筆跡までは見ていないが、一応そう書いてある。

村武委員

議会だよりの読者アンケートを見ると、議会や市政へのご意見・ご要望のところに「皆様からいただいたご意見・ご要望は議員間で共有させていただき、今後の議会活動に生かしていく」と書いてあって、返答するとはここには書かれていない。

今のアンケートなら連絡先を書く欄もないので、反対に、名前や連絡先を書くところのアンケートをくださる方ももしかしたら少なくなるかもしれないので、例えば「お返事がいただきたい方は連絡先をお書きください」とかにしたほうがよいのか。今のこの状態でやるなら、そうしたほうがよいのかとも思うし。あとこうしてご意見・ご要望を集めて実際我々もどうしたらよいのかまで議論しただろうか。

三浦委員長

はっきり一言一句覚えてないが、この中で意見・要望を聞いて、議会だよりの紙面を使って回答するのは難しいだろうと。結局は伺ってそれを各委員会の中で審議していくとか。こういうお声があるということきちんと聞くためのツールとして読者アンケートを使おうというのがスタートだったと思う。その取り扱いについては、こういうお声があるのだということで、あとは各議員の議員活動に委ねられているのが現状である。もちろん、返事があるものでないと明記はされているのだが、返してほしいという要望が実際にあったので、それについてどう対処するかは考えないといけない。

- 先ほどの村武委員の質問に対しては、そういう意図で読者アンケートを位置づけてやっているのが基本スタンスである。
- 村武委員      例えば所管常任委員会に振り分けることをもしやるのであれば、そこも明記する。あとは委員会で対応していただくようにするとか。直接的な返事はないかもしれないが。今後の議員活動、議会活動に生かしていくというのが、あまりにもぼんやりし過ぎているので、本当にそれをする人がいるかどうか分からない。それが委員会となると、委員会がやることは出てくるとは思う。
- 西川副委員長      アンケートを始めて、その取り扱いをぼんやりしたものにしてたのは悪かったと思った。1件1件できるもの、できないものがあるがホームページを使ってお知らせする。どうしたかは伝えないといけないとも思うので、考えてみようと思う。あとはほかの常任委員会に振る仕組みも一つつくらないといけないと思う。また考える。
- 三浦委員長      いろいろな考え方があると思うが、いただいた意見を当委員会で審議し結論を出していくのは少し委員会の役割としては広がっていく気がする。あくまで広聴機能を高めて拾い上げた意見を各所管委員会で審議してもらおうよう働きかける。あるいは副委員長が言われたように、送る仕組みを整えていく。そのあたりが我々の役目ではないかと思った。
- 川上委員      もちろん貴重な意見なので、棚上げや対応がしっかりできない状況というのは改善すべきだと思う。どうしようか、例えば、こういう形はどうだろうかというのを一度検討して、皆に諮るのがスムーズかと思うがいかがか。よろしいか。
- 佐々木委員      そのような方法を少し考えていただいて、またご提案いただければと思うのでよろしくお願いいたします。
- この問題、多分書かれた方は議会広報広聴委員会に向けてではなく浜田市議会議員全員に向けてのご意見だと思う。それを我々だけで解決すべきかもしれないが、全議員でまずは共有するのが一番大事なことで。個別のこういった問題提起についても、果たして我々だけで解決すべきものかどうか。議長とも相談したいと思ったのだが、これは議会全体で解決すべき問題だし、黒川町なので石見交通の路線バスは大体判断がつくので、その路線について石見交通に交渉したがなかなかこういう状況で難しいといった回答は恐らくそれほど難しくないとはいえないと思う。誰が回答するかも含めて。これは議会全

体の問題になりはしないか。一応議長には伝えるが。そういう方向で我々だけとなると、多分いろいろなことが出てくると思うので。まずは皆にしっかりこれを共有するのが大事だと思った。個別の問題は議長と相談する。

村武委員 アンケート結果だが、毎回タブレットのどこかのフォルダに入れていただいているのだったか。

小寺書記 議員全員が見ていただけるように、議会図書室の議会だよりのフォルダに入れている。V o 1.60のものはまだ上げられていない。58、59は上げている。

村武委員 私も先ほど図書室のところは確認させていただいたのだが、それを知らない方ももしかたらいらっしゃるかと思った。例えばどこにアップしているとメールで各議員にお知らせいただいたりすると、関心のある方は見られるか、見ていただきたい。

笹田委員 その件に関しては先ほど副議長が言われたように、全員に知ってもらうには全員協議会の場で最後に、委員長に開いてもらって皆で確認するべきだと思う。でないと、見てくれ見てくれと言っても見ない方もおられるので。毎回全員協議会の最後に時間を取っていただき、全議員にしっかり理解していただき、どのように課題解決していくかを考えていかないと。せっかくアンケートを書いてくださった方に失礼かと思う。リアルタイムで話をしていくことが必要かと思う。

佐々木委員 笹田委員が言われたように、この一つ一つに我々がどう反応していくかが議会との信頼関係になるし、それが議会報告会に来てもらう方向にもなると思うので、これはとても大事なことだと思う。見ない人がいてはいけない。自分のことと受けとめていかないといけない。一般質問でこういうことを言っていてとおかしいというのは、これは直さないといけないことなので、誰がやっているかは一目瞭然でわかると思うので、そういうことも含めて一つ一つのご意見を議会全体で非常に大事に扱うようにしていきたい。

三浦委員長 小寺書記、補足があるか。

小寺書記 村武委員が言われたメールの件については、一応配信した段階で全議員にはお送りしている。

もう一点、この方女性だった。前回59号では男性とあるがそちらが間違いだった。申しわけない。

- 佐々木委員 見てくれと言っても見ないので、例えば議会事務局のどこかに貼り出すとか、皆が目を通せるようなやり方がよいと思うが。
- 村武委員 併せて、こうしてアンケートを寄せていただく方に向けても、このようにするときちんとわかっていただく。議会だよりのどこかに「このようにする」と明記したほうがよい。
- 三浦委員長 次号にその取り扱いを整理して掲載するのは難しいか。もちろん正副議長に今後相談しないといけないし。どうだろうか。
- 小寺書記 一応次の委員会が4月2日で、そこで校正をするのでそれまでのところで。今西川副委員長から原稿データをいただいているが、そこまでに協議した上でそれに修正を加えることは可能かと思う。
- 村武委員 もしそこまでに書くことができれば一番よいと思うが、もし書けなかったら、今の検討状況をお伝えするのも必要かと思う。
- 小寺書記 あと例えば浜っ子タイムズに三浦委員長と小川委員にご出演いただくときに、読者アンケートをやっていることも触れようと思っっているので、そこで言うのも一つの手かと思う。
- 三浦委員長 それは有効だと思う。
- 澁谷委員 議員に対する信頼がない。
- 佐々木委員 相手がわからないから紙面のどこか載せるしかないか。答えは出ないかもしれないが、こういう状況で執行部に投げかけてなるべく対応したいとか。
- 野藤委員 検討しますとか。
- 佐々木委員 民間会社の事業なのでなかなか市では難しいかもしれないが。
- 澁谷委員 敬老乗車券を使って対応してくれとか。
- 佐々木委員 執行部に対応策考えてもらって、それを早急に載せるとか。
- 三浦委員長 いずれにせよ、回答してほしいという要望も来ているので、ホームページに掲載するのか、いずれにせよ回答すべきだという佐々木委員からのご意見もあったので、これについては。
- 佐々木委員 紙面での回答がよい。
- 澁谷委員 ホームページは見ない。
- 佐々木委員 ホームページに掲載したと伝えられればよいが。
- 三浦委員長 ほかに個別案件でご要望というのは。そうすると1件だけ答えるとそのほかのものもとなるので、例えば紙面の中では個別にご要望いただいた件についてはホームページでかえさせていただく、ご了承いただきたいというような。

- 澁谷委員  
三浦委員長  
通常はそれでよいが、これはイレギュラー。  
では、本件については次号で紙面对応する。  
対応方法についてはホームページで回答するのか、今後きちんと戻していけるように。そこを決めないと掲載もできないので、次回の委員会までに議長団と相談させていただき、どのように取り扱うか。
- 佐々木委員  
三浦委員長  
これについては、早急にどうするかということ。  
この案件と、仕組み。広聴して市民からいただいたいろいろな意見を今後、例えば各常任委員会に振っていくとか。それは当委員会で議論すべきか、議長団に相談すべきか。
- 佐々木委員  
三浦委員長  
笹田委員  
議長とまず相談してみる。  
できれば次号の紙面で何かしらの対応方針は掲載したほうが。  
バスの件に関しては多分この人だけではないと思う。この人に向けて言うのではなく、対象の方に伝わるように言えば個別案件への回答にはならない。市議会が感じたことを返す形にしないと。何でもかんでも返してしまうとそういう形になってしまう。今回は相手の方がお怒りになっていることもあるのだが、こうしたお困りの方を対象にアナウンスする形のほうがよいと思う。
- 西川副委員長  
紙面の使い方、今回までは寄せられたご意見を載せようと思って。せっかく出したのだから取り上げてもらったということで、なるべく1行ずつ上げたのだが、これを返していくことに紙面を割かないといけないと思うので、紙面の使い方をもう少し考えて、字は小さくなるかもしれないがいろいろな情報が入るように。公開しなければならない重要案件については紙面で方向性だけでも示せるように。紙面はそのように検討しようと思う。
- 佐々木委員  
紙面でいただいた分はわかりやすいように、前回いただいたご質問・ご要望、その回答など、わかりやすいように紙面で解決したほうが親切だし、信頼関係もできると思う。前回の分は次回にすぐ返す取り組みのほうが、誠意があることになる。そういう方向で検討したらどうか。
- 村武委員  
紙面で返すのが一番よいと思うが、全て載せることもできないかもしれないのでホームページということになると思うが、アンケートを見ていると高齢の方が結構多いので、例えば公民館にこのボックスが置いてあって、そこに入れてくださる方も多いと思うので、

笹田委員

公民館にホームページに載せているものをプリントアウトして貼ると、もう少し見ていただけると思った。

丁寧に返すことは必要だと思うが、これ一件ずつやっているとお自分のが載った、載ってないという話になるので、それは注意しないとイケない。

また、紙面がないのであれば今やっているminiみたいな感じで、アンケートだけのものをつくってそこで返していく方法もあると思う。意見をいただいても返していただけない、ちょっとしたことだが全部というわけにいかないで、その辺が問題かと思う。問題の大小で差をつけるわけではないが、丁寧にやるとそういう問題も出てくることを把握しておかないとイケない。

芦谷委員

我々議会は市長の背中を押す。そうであれば個別案件は市長に言ってあげて、市長から広報なりしてもらえばよい話であって、個別案件を議会でやると、できる部分できない部分があったりするのである程度普遍的に市長に伝えて、市長から対応してもらおう。場合によっては市の広報にそういうコーナーを設けてもらってもよいかもしれないし。市議会でその問題をいちいち広報に載せるのは、少し違うと私は思うのだが。広聴機能で聞いて、それを市をして施策に反映することだと思うので、ぜひその辺はきちんとした考え方をつくったほうがよいと思った。

澁谷委員

基本的に市民は議会と市が一緒になっているというか、議会には予算編成権と執行権がないことを理解されていないところがある。そういう中での議会の限界がある。国会では議員が内閣大臣になっているので、議員は執行権や予算編成権があると思っておられる。だから議会には何を言ってもやってくれないと、同列の扱いになっている。だから議会の限界もあるということと言うと弁解になるのだが。そういう根本的なところも理解されていない感じがする。

三浦委員長

確かにこういう地域公共交通の要望についても、例えば所管委員会で議論して、委員会として要望することにしたというのが議会としての、そこまで持っていくということだと思う。議員一人がこれを聞いて「うんうん問題だ」と思っている、それは議会としての対応になってない。ただ、それをすぐ改善できるかは澁谷委員がおっしゃったように、予算編成は我々ではすぐできないので、そこは

議会としての誠実な対応について理解を促していくこともそうだし、伺った要望をそのままにしておかないで、議会あるいは委員会の中でどう取り扱っていただけるかは、前向きに。そういう仕組みやルールは読者アンケートをやっていく中で整えておいたほうがよい、というのはやりながら見えてきた課題である。

皆から出たご意見と問題意識は共通する部分があると思う。まとめて、こういうやり方はどうだろうかと提案したほうが。

笹田委員

前委員長である小川委員がおられるので、多分苦勞されたと思うのだが、地域井戸端会ではそうした。議会で答えられることは議会で答えて、こちらで答えられないものを執行部に割り振った。あのよう形にしないと簡単には答えられない。そういう形を取らないと安易なことは言えない。芦谷委員が言われるのはそういうところかと思う。

三浦委員長

前の議会報告会のときに割り振りの一覧表を各委員会に振った仕組みをつくったと思うので、それも参考にしながら同様に整えていけたらよい。できるだけ早いタイミングでできるように。次回の紙面に間に合えば本当によいと思うが、副議長、またご相談させてほしい。

佐々木委員

市民から出された問題をどう我々が返していくかは、ずっと前からのテーマである。それがいろいろな理由で、執行部に投げたら時間がかかったり、それは議会がやることではないとか、線は引かないといけいないのだが、そういうことでなかなか市民の期待に応えられてこなかった。なかなか難しいかもしれないが、徐々に紙面を使ってこれを機に信頼をつくっていったらと思う。大変かもしれないが丁寧に。もちろん執行部ではないのでできないこともたくさんあるが、できないなりの答えを返していくべきだと思う。

三浦委員長

ご相談に上がらせてもらう。皆にもまたご提案させていただく。ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

小寺書記

ほかになければ次回委員会日程についてになるが、前回はまだ議会だよりV o 1.61の作成スケジュールをお示しした際に、4月1日に編集会議をやるアナウンスしていたのだが、1日が辞令交付式などがあった5階が慌ただしくなるので、できれば翌日4月2日にお願ひできないかと思っているのだが、ご都合はいかがか。時間は9時から。

三浦委員長

《 以下、日程調整 》

では4月2日（金）の10時から、場所は全員協議会室になる。よろしく願います。

皆からほかによろしいか。

（ 「なし」という声あり ）

では以上で委員会を終了する。

[ 11時 37分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀